

2013年11月8日

各 位

株式会社電通国際情報サービス
オープンイノベーション研究所

ISiD、フランス・バルドワーズ県と共同でライフログ解析の実証実験を開始 ～外国人観光客の行動範囲拡大を支援する、新しい街のサービスを開発～

株式会社電通国際情報サービス(本社:東京都港区、代表取締役社長:釜井 節生、以下 ISiD)のオープンイノベーション研究所(イノラボ)は、訪日外国人観光客に対して、街が具備すべきコミュニケーション機能を検証・抽出することを目的として、外国人観光客の行動ログを収集・解析する実証実験を開始します。実験の第一弾として、フランス・バルドワーズ県と共同で、一般社団法人グランフロント大阪 TMO および株式会社池田泉州銀行の協力のもと、11月9日から18日まで、大阪を訪れるフランスからの観光客を対象としたライフログ共同解析実験を実施します。なお本実験は、テクニカルコラボレーターとして、電通およびISiDがメンバーカンパニーとなっている米マサチューセッツ工科大(MIT)メディアラボ、放送大学川原研究室の技術協力を得て行います。

■実験の目的■

東京オリンピック開催決定を受けて、外国語表示対応をはじめとする外国人観光客向け情報提供サービスの必要性が指摘されています。ISiD イノラボは、外国人観光客や、観光客を受け入れる街にとって必要なのは、単なる外国語表示対応だけではなく、言葉や文化の違いに起因するコミュニケーション・ストレスを軽減し、滞在中の行動範囲の拡大を支援するようなサービスであるとの仮説に基づき、本実験を通じて、そうしたサービスに求められる具体的な機能を検証します。

本実験では、大阪府と友好提携を結ぶフランス・バルドワーズ県の協力を得て、フランスからの観光客の行動ログをGPSやWi-Fi等の測位技術を用いて詳細に収集・解析し、ISiD イノラボが試験提供する各種ITサービスの有効性を検証していきます。また今後は、日本からフランスへの旅行者のライフログ解析実験なども計画しています。

ISiD イノラボは、本実験の成果をもとに、訪日外国人観光客を対象とした街のコミュニケーション基盤の開発に取り組み、ISiDが「+fooop! (プラ フープ:愛称はフープ)」のブランド名で展開する街のITプラットフォーム事業に反映していく計画です。

■実験概要■

11月9日から18日まで実施する第一弾の実験期間中、被験者(大阪を訪れるフランスからの観光客)に以下のサービスを試験提供し、滞在中の行動ログ解析をもとに、各サービスの有効性を検証します。なお実験に際しては、出発地となるシャルル・ド・ゴール空港にて、被験者に予め実験用ICカードを配布し、空港に設置した専用端末を用いて必要情報の事前登録を行います。

- ・ 関西国際空港内の池田泉州銀行外貨両替ショップにて、被験者が持つ実験用ICカードを専用端末にタッチするだけで、所定の書面への記入無しに外貨両替が完結するサービスを提供。
- ・ ISiDがグランフロント大阪に導入したコミュニケーション基盤「コンパスサービス」の専用端末を、被験者の訪問先(大阪・名古屋・京都)に設置し、実験用ICカードをタッチするだけで、フランス語で次の旅程や近隣のお勧め情報が表示されるサービスを提供。
- ・ 離れた場所にいる被験者同士が、専用端末やスマートフォン上で動画コンテンツを共有できるサービスを提供。

【本実験に関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス オープンイノベーション研究所 鈴木

TEL:03-6713-6098

E-Mail:info@inolab.net

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス 経営企画室 広報担当 李

TEL:03-6713-6100

E-Mail:g-pr@isid.co.jp

ソーシャルシティ・プラットフォーム「+fooop!」について

「+fooop!」は、ISiD が研究開発および事業化を進める、街の IT プラットフォームのブランド名です。街を訪れた人の趣味や興味関心事、購買履歴といった情報に、街で行われるイベントや来街者の位置情報、来街目的などの情報を加味して、その時々、一人ひとりの状況に合わせた情報提供を可能とすることで、街と人、そして人と人との、実空間におけるリアルなコミュニケーションを促進します。2013 年 4 月開業のグランフロント大阪に導入されたコミュニケーション基盤「コンパスサービス」は、「+fooop!」を大規模な再開発事業に適用した最初の事例であり、2013 年 2 月に開催された世界最大級のモバイルカンファレンス「Mobile World Congress 2013」でも大きな注目を集めました。

オープンイノベーション研究所(イノラボ)について

ISiD が 2011 年 4 月に設置したオープンイノベーション研究所は、様々な先端技術の実用化に向けて、企業や教育機関などと協働し、技術研究やサービス開発に取り組んでいます。「未来の街づくり」「次世代教育」「未来のテレビ」などをテーマに、各分野のスペシャリストと共同でアプリケーションのプロトタイプ開発や実証実験を推進しています。 <http://www.inolab.net/>

関連プレスリリース

- ・ 4 月 26 日まちびらきのグランフロント大阪で、ISiD 提供による世界初のソーシャルシティ・プラットフォームが稼働 ～クラウド上に構築したビッグデータ処理エンジンを活用、タッチパネル式サイネージとスマホ連携により、来街者一人ひとりに最適な情報を提供～ (2013 年 4 月 23 日)
<http://www.isid.co.jp/news/release/2013/pdf/0423.pdf>
- ・ ISiD、世界最大級のモバイルカンファレンス「Mobile World Congress 2013」に出展 ～今春開業の大規模再開発プロジェクト「グランフロント大阪」に導入される世界初のソーシャルシティ・プラットフォーム「+fooop!」をグローバル市場へ発信～ (2013 年 2 月 20 日)
<http://www.isid.co.jp/news/release/2013/pdf/0220.pdf>
- ・ ISiD、“街とツナガルモビリティ”のコンセプトを発表 ～オートモーティブワールド 2013 に出展、ホログラフィック AR を用いて街・人・クルマの近未来を上映～ (2013 年 1 月 16 日)
<http://www.isid.co.jp/news/release/2013/pdf/0116.pdf>
- ・ ISiD、街の IT プラットフォーム事業に本格参入 ～第一弾として、うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」にユビキタスプラットフォームを提供～ (2012 年 10 月 2 日)
<http://www.isid.co.jp/news/release/2012/pdf/1002.pdf>

<電通国際情報サービス(ISiD) 会社概要>

社名	: 株式会社電通国際情報サービス(略称:ISiD)
代表者	: 代表取締役社長 釜井 節生
本社	: 東京都港区港南 2-17-1
U R L	: http://www.isid.co.jp
設立	: 1975 年
資本金	: 81 億 8,050 万円
連結従業員	: 2,295 人(2013 年 3 月 31 日現在)
連結売上額	: 727 億 6,400 万円(2013 年 3 月期)
事業内容	: 1975 年の設立当初から顧客企業のビジネスパートナーとして、コンサルティングからシステムの企画・設計・開発・運用・メンテナンスまで一貫したトータルソリューションを提供してきました。IT Solution Innovator をビジョンとし、金融機関向けソリューション、製品開発ソリューションをはじめ、グループ経営・連結会計、HRM(人事・給与・就業)、ERP、マーケティング、クラウドサービスなど、幅広い分野で積極的な事業展開を図っております。

* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。